

平成21年度 諸行事報告

■第29回ゴルフコンペ

- ・日時: 5月26日(火)
- ・場所: 武庫ノ台ゴルフコース

当日は18名が参加され、快晴のもと熱戦が展開されました。優勝は寺戸秀明(高11)さんがグロス89、ハンディ14(ダブルペリア)ネット75で昨年に続いての連覇で、平成17年度の優勝を含め今回が3回目の優勝です。2位にはゲストの藤城坦さん、3位は三吉孜さん(北4)。森光雄さん(北4)が初めて参加されました。

●参加会員は以下の方々です。

和田亮介(高1) 寺本尚由・仁宮竜聖(高5) 廣政淑彦・山本 雅昭(高7) 澄川光成・長藤明義・佐藤早智子・佐々木悦子(高9) 押田良樹・寺戸秀明・畑田稔・村尾俊治・野津丞(高11) 松本耕司・三吉孜・森光雄(北4) 藤城坦(ゲスト)

■第4回文楽鑑賞会

- ・日時: 6月7日(日)
- ・場所: 国立文楽劇場

当日は家族を含め15名が参加され、全員で文楽劇場内「文楽茶寮」で昼食後、今回も「文楽観賞教室」開催中の「二人三番叟」、「傾城恋飛脚」・「新口村の段」を鑑賞しました。

●参加会員は以下の方々です。

須藤信幸(高4) 真野透・佐々木悦子・木村八重子・清水良子(高9) 押田良樹(高11) 土田和男・松本耕司(北4) 柏木薫(北5) 三好資子(北8) 宍道弘志(北19)

■第3回天満天神繁盛亭落語鑑賞会

- ・日時: 9月23日(水)
- ・場所: 天満天神繁盛亭

当日は家族・ゲストを含め35人が参加され桂坊枝(ホウシ)さんの独演会を楽しみ、終了後、坊枝さんを囲んで記念撮影をしました。

●参加会員は以下の方々です。

苅田運三郎(高1) 山崎 幸代(高7) 佐藤菁治(高10) 押田 良樹・村尾俊治(高11) 土田和男・長野米一・松本耕司(北4) 柏木薫(北5) 渡辺悟(北8) 石橋俊幸(北17) 森口次郎(北24)

■第4回歴史ウォーキング

- ・日時: 10月18日(日)
- ・場所: 京都円山公園界隈

これまでは山の辺の道を2回、明日香村といずれも奈良を歩きましたが、今回は京都に場所を移し円山公園界隈を散策しました。千年の歴史を持つ京都には一般にはあまり知られていない歴史上のスポットがたくさんあります。

新谷勇人(高11)さんの友人の荻野晃也先生が案内役を買って出て下さり、自ら作成された詳しい地図と案内をもとに円山公園界隈を懇切に案内して下さいました。

訪ねたスポットは30近くあり初めて知る場所もたくさんありました。荻野先生の専門は原子力なのですが歴史に対するご造詣が深いのには敬服しました。

今回の参加は家族を含め24名でした。

●参加会員は以下の方々です。

苅田運三郎(高1) 神田田鶴子(高2) 春日敏邦・島田寿夫(高5) 岩成哲男・坂本隆男・真野透・佐々木悦子・木村八重子・清水良子(高9) 新谷勇人・押田良樹・村尾俊治(高11) 加藤巡一・古川幸孝(北2) 土田和男・坪倉司郎・松本耕司・田中由美子(北4) 池田喜美代(北7) 三好資子(北8)

◆歴史ウォーキング・レポート

～～～ 円山公園界限散策 ～～～

三好資子 (北8)

10月18日(日)、午前10時に八坂神社西楼門前に集合。松江から4年連続の参加となる岩成哲男さん(高9)や、夫婦での参加もあり、総勢24名。そして今回のガイドを引き受けて下さったのは、新谷勇人さん(高11)の友人の荻野晃也先生。先生は京都大学理学部を定年退官された原子核物理学専攻の科学者である。専門外であるにもかかわらず、歴史にも精通されていて、教科書にも載っていないような裏話や、ご自身の説も交えて説明して下さいるので、つい身を乗り出して聞き入ってしまう。先生が作成されたマップとA4で8枚にも及ぶ説明書を片手に、紅葉にはまだ少し早い京都の円山公園界限を歩いた。観た所を全て紹介すると、膨大な字数になるので、私にとって特に印象に残っていることを記すにとどめたいと思う。

その一つが、八坂神社から高台寺・掌美術館に向かう時に通った「石堀小路」である。実際には、少し歩いてすぐに「ねねの小径」へと進んだが、両側に佇む家並みのいかにも京都らしい落ち着いた風情には、人の心を和ませるものがある。観光客が余り歩いていないのも良い。

事前に予約しなければ入れない「大雲院」には、あの石川五右衛門の墓があった。墓石の角が削られているのは、賭け事などをする人が縁起をかついで削り取って行ったからだとの説明には笑ってしまった。大雲院境内にある祇園閣からは京都市街が一望でき、吹く風も汗ばんだ身体にはとても心地良かった。

実は今でもひとつ気になっていることがある。「芭蕉堂」と「西行堂」に入る門に、個人の表札が掛かっていたように思うのだが、荻野先生はどんどん中へ入って行かれる。更に奥の木戸を開けようとしたが、施錠されていて入れず。どこへ行こうとされていたのかは、午後になって判明。道元の茶毘墓の奥に西行堂の屋根が見えた。あゝ、あの木戸はここに通じていたのだと。それにしても、あの表札は私の見間違いだったのだろうか。

「知恩院」の鐘楼の奥の長い石段を上っていると、「法然上人御廟」がある。たまたま納骨される一行と出くわし、納骨式を目の当たりにすることができた。こんな偶然はめったにないことだと思う。

最後に訪れた「青蓮院」では、平安時代から現代に至るまで、境内では開帳されていなかった「青不動」が拝観できるというので、スタート時には私も見学するつもりでいた。しかし、青蓮院に着いたのが午後4時だったので、青不動を観ることもなく家路に急いだ。折角の機会であったのに惜まれる。殆どの参加者が入館されたと思うが、いかがでしたか？

京都には何度も訪れているが、大雑把な観光しかしてきていない。京都の歴史や地理に詳しい人に案内してもらおうと、またひと味違った京都に出会うことができることを痛感した一日だった。

荻野先生に感謝です！！

《今回の行程》

八坂神社西楼門前[集合] → 八坂神社 → 二軒茶屋・中村楼 → 円徳院庭園前 → 高台寺・掌美術館 → 竹内栖鳳旧宅 → 高台寺山門 → 法観寺(庚申堂・八坂の塔) → 霊山護国神社前 → 高台寺 → 高台寺・月真院 → 芭蕉堂・西行堂 → 大雅堂址 → 大雲院(石川五右衛門の墓・祇園閣) → 祇園女御供養塔 → 円山公園[昼食] → 坂本龍馬・中岡慎太郎の像 → 双林寺 → 道元の茶毘墓 → 東大谷祖廟前 → 長楽寺 → 寺井玄溪の碑「夢」 → 左阿彌(織田道八の墓) → 安養寺(弁天堂・慈円の墓) → 知恩院 → 崇泰院 → 瓜生石 → 青蓮院前[解散]

■第3回都道府県対抗女子駅伝・応援

- ・日時: 1月17日(日)
- ・場所: 京都西京極競技場スタート・ゴール

当会最年少会員の辰巳悦加さん(北31)と島根県選手団を応援するこの企画は、今年も家族を含む18名が参加された。

辰巳さん(現デオデオ)は新年以来の足の故障からの練習不足の中で重要区間の1区、西

大路の上り坂、3 千障害を専門とする辰巳選手にとっては長い6 kmを担当、何とか36位で襷をつないだ。県チームはアンカーの杉原加代選手(出雲商業卒・辰巳選手と同じく世界陸上代表・現デンソー)の5人抜き力走もあって36位でゴール。目標とした20位台は果たせなかったが県チームとしては過去最高の2時間22分47秒で走り終えた。

辰巳さんにとっては11月の中国・広州でのアジア陸上選手権・3000m 障害優勝の余勢を駆りたいところであったが、足の故障で悔やまれる結果となった。

当日は村田貢幹事は京都県人会の一員として出雲蕎麦の屋台で活躍。荻田常任幹事は近畿松江会会長としても応援。木島光子会員はボランティアとして競技運営に参加。又、高11期の皆さんは初詣同期会の中を応援に時間を割いていただくなどのご協力をいただき、声をからして応援する中で郷土島根との一体感を存分に味わっていただいた一日であった。

《応援行程》

西京極競技場集合・選手を激励 → 徒歩で1区ゴール平野神社に移動(一部の方はJR円町駅集合)して辰巳選手を応援 → TAXIで河原町丸太町に移動、昼食後、復路8区中学生選手を応援 → 地下鉄で四条に移動 → 阪急大宮に乗り換え → 阪急西京極に移動 → 西京極競技場で9区ゴールを応援

●参加会員は以下の方々です。

伊藤雅義・荻田運三郎(高1) 寺本尚由(高5)
押田良樹・村尾俊治・佐藤潤・田中一男・中尾長子(高11)土田和男・松本耕司(北4) 木島光子(北5) 岩田一志(北7) 村田貢(北10) 松本潤・森脇泰雄(北11)